

DYMO®

DYMO Connect for Desktop
ユーザーガイド

newell
BRANDS

著作権

© 2018 Sanford, L.P. All rights reserved. 最終更新日: 05/2025

Sanford, L.P.より書面での承諾を事前に得ずに、本書およびソフトウェアをどのような形態に複製し、どのような方法で配布することも、他言語に翻訳することも禁止します。

このアプリケーションで使用する QR コードは、GNU Lesser General Public License 2.1 に基づいてライセンスされています。

商標

DYMO, LabelManager, および LabelWriter は、米国およびその他の国における登録商標です。

その他のすべての商標は、該当する各社が所有しています。

/内容目次/内容

DYMO Connect for Desktopの変更点	1
バージョン 1.5	1
バージョン 1.4.9	1
バージョン 1.4.8	1
バージョン 1.4.7	1
バージョン 1.4.6	1
バージョン 1.4.5	1
バージョン 1.4.4	1
バージョン 1.4.3	2
バージョン 1.4.2	2
バージョン 1.3.2	2
バージョン 1.3.1	2
バージョン 1.2	2
バージョン 1.1	2
概要	3
はじめに	4
ソフトウェアのツアーを見る	4
ラベルの選択	4
シンプルラベルの印刷	5
新しいラベルの作成	5
既存のラベルを開く	6
よくある質問	7
ラベルのデザイン	10
デザインオブジェクトの追加	10
テキストオブジェクトの追加	11
住所オブジェクトの追加	12
画像オブジェクトの追加	14
図形オブジェクトの追加	15
線のオブジェクトの追加	15
バーコードオブジェクトの追加	16
QRコードオブジェクトの追加	17
日時オブジェクトの追加	17
カウンタオブジェクトの追加	19
PDFのインポート	20
スクリーンの取り込みの使用	21
オブジェクトの選択	21

オブジェクトの操作	21
オブジェクトの配置	22
オブジェクトの整列	22
オブジェクトの名前付け	22
連絡先リストを使用する	23
連絡先を印刷する	23
連絡先を追加する	23
ラベルから連絡先を追加する	23
連絡先を編集する	24
住所を修正する	24
連絡先を削除する	25
新しい連絡先リストを作成する	25
データを連絡先リストにインポートする	25
DYMO ラベルからアドレス帳をインポートする	26
連絡先リストを切り替える	26
データのインポート	27
連絡先のインポート	27
スプレッドシートまたはデータベースのデータのインポート	27
データフィールドの割り当て	28
ラベルプリンターについて	29
プリンターが表示されない場合	29
LabelWriter Wireless プリンター	31
ネットワークプリンターの追加	31
MobileLabeler ラベル メーカー	32
LabelWriter 450 Twin Turbo プリンター	32
印刷品質の調整	33
ラベルについて	34
LW ラベル ロール	34
D1 ラベル カセット	35
ラベルの購入	35
基本設定の設定	37
キーボードショートカット	38
困ったときは	41
ソフトウェアの更新プログラム	42

DYMO Connect for Desktopの変更点

バージョン 1.5

- 機能のマイナーアップデート

バージョン 1.4.9

- カスタムラベルに対応(米国のみ)
- 機能のマイナーアップデート

バージョン 1.4.8

- 機能のマイナーアップデート

バージョン 1.4.7

- LabelManager Executive 640CBラベルプリンター対応
- “テキスト”タイプの QRコードオブジェクトへのデータのインポート
- 病院・獣医向け新テンプレート
- Cryogenicラベルに対応
- GS1 DataMatrixバーコードに対応
- ソフトウェアの更新通知を無効化／有効化

バージョン 1.4.6

- ソフトウェアの更新通知を無効化／有効化
- 機能のマイナーアップデート

バージョン 1.4.5

- キャラクターの問題を修正
- 機能のマイナーアップデート

バージョン 1.4.4

- 新規および更新ラベルとテンプレートを利用できるように変更
- VPAT のサポート
- スプレッドシートから連絡先リストにデータをインポートできるように変更
- PDF を画像オブジェクトとしてインポートできるように変更
- Print DYMO Label アドインを Microsoft Excel に追加 (Windows)
- Apple の連絡先に対応 (macOS)
- クリップアートを更新
- カスタムオブジェクトに名前付けできるように変更

- Intelligent Mail® バーコードに対応
- PLANET バーコードに対応

バージョン 1.4.3

- DYMO 連絡先リストを追加
- 安全性カテゴリのクリップアートを追加

バージョン 1.4.2

- LabelWriter 550、550 Turbo、5XL ラベルプリンターに対応
- 正規の DYMO ラベル Automatic Roll Recognition™ 搭載に対応
- macOS v10.14 Mojave 以降に対応
- 一部の機能をマイナーチェンジ

バージョン 1.3.2

- 名前バッジラベルに新色を追加
- 一部の機能をマイナーチェンジ

バージョン 1.3.1

- 対応している言語に韓国語を追加

バージョン 1.2

- データのインポート時にデータフィールドを割り当てる方法を改善
- 画面取り込み機能を画像オブジェクトに追加
- Print DYMO Label アドインを Microsoft Word に追加
- ソフトウェア デベロッパーのキット (SDK) が利用可能

バージョン 1.1

- 簡体字中国語、ロシア語、ヒンディー語、日本語、タイ語、ベトナム語に対応
- 機能のマイナーアップデート

概要

DYMO Connect for Desktop ソフトウェアを使用することで、ラベルをすばやく作成し、DYMO ラベル プリンターに出力できます。本ユーザーガイドでは、ソフトウェアの使用方法について詳しく説明しています。以下の項から始めてみましょう。

- [はじめに](#)
- [よくある質問](#)
- [ラベルのデザイン](#)
- [データのインポート](#)

本ユーザーガイドには、DYMO Connect for Desktop ソフトウェアのオンライン ヘルプと同じ情報を収録しています。

はじめに

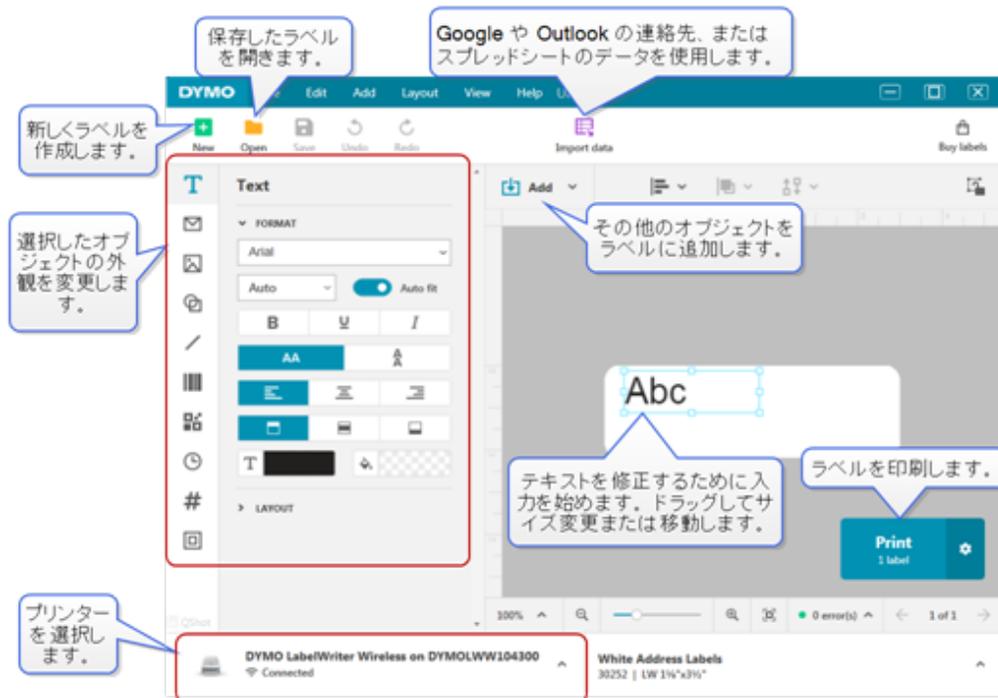
DYMO Connect ソフトウェアにはラベルをすばやく作成、印刷するためのオプションがいくつか用意されています。以下のいずれかの方法を選んでください。

- 単一のテキスト オブジェクトを含んだシンプル ラベルを選択してテキストを入力する。
- 書式設定済みのラベルのテンプレートを用途に基づいて選択する。
- 空白のラベルから独自のカスタム デザインを作成する。

詳細については、以下の項目をご確認ください。

[DYMO Connect ソフトウェアのツアーを見る](#)
[シンプルラベルの印刷](#)
[ラベルの新規作成](#)
[既存のラベルを開く](#)
[ラベルタイプの選択](#)
[カスタムレイアウトのデザイン](#)

ソフトウェアのツアーを見る



ラベルの選択

ラベルはタイプ (LW ラベルまたは D1 テープ ラベル) およびサイズ別に表示されます。LW タイプのラベルは LabelWriter プリンターで使用します。D1 テープ ラベル

は、LabelManager および MobileLabeler ラベル メーカーで使⽤します。ラベルのタイプとサイズを選択したら、そのラベルの素材や色のオプションがさらに表示される場合があります。現在選択しているラベル プリンターに応じて、リストに表示されるラベルが決まります。たとえば、LabelWriter プリンターを選択している場合は、D1 テープラベルを選択することはできません。

D1 テープラベルをプリンター内で別のサイズまたはタイプに変更した場合は、現在選択中のラベルをそのまま使⽤するか、ラベルタイプを変更するかを尋ねるメッセージが表示されることがあります。ラベルをプリンターのラベル ロールに一致するように変更する場合は、現在のラベル デザインのオブジェクトが新しいラベルに収まるようにサイズが変わります。プリンターのラベル サイズに一致しなくても、現在のラベル サイズ内でそのまま作業を続けることができます。ただし、印刷する前に一致するラベルを挿入する必要があります。そうしない場合、うまく印刷できないことがあります。

シンプルラベルの印刷

シンプルラベル テンプレートには 1 つのテキストオブジェクトを設定しており、そこにテキストをすばやく追加して印刷することができます。シンプルラベルには、横方向と縦方向の 2 種類があります。

シンプルラベルを印刷する

1. シンプルラベルがデザイン ページにまだ表示されていない場合は、 **新規作成** をクリックします。
2. 横方向または縦方向のシンプルラベル テンプレートを選択し、**開く** をクリックします。
テンプレートをダブルクリックして開くこともできます。
3. ラベルのテキストオブジェクトにテキストを入力します。
4. デザイン エリアの左にあるプロパティペインのオプションを使用して、テキストをフォーマットしたりレイアウトを変更したりします。
5. 印刷をクリックします。

新しいラベルの作成

新しいラベルは一から作成することも、テンプレートを選択して作成することもできます。

書式設定済みのラベルを多数ご用意していますのでご利用ください。これらのラベルは用途別に分類しています。用途ごとにいくつかのテンプレートの中からお選びいただけます。テンプレート自体は変更できませんが、テンプレートを土台にして変更を加えてから後で使⽤するために保存できます。

利⽤できるラベルテンプレートは選択したプリンターとラベルタイプによって異なります。

空白のラベルを選択し、独自のラベルをデザインします。

テンプレートを使用してラベルを作成する

1.  新規作成を選択します。
2. ラベルタイプがプリンターのラベルに一致することを確認します。「[ラベルの選択](#)」を参照してください。
3. いずれかのラベル用途からテンプレートを選択します。
すべてのラベル用途が D1 タイプのラベルに使用できるとは限りません。
4. 編集を選択すると、ラベルがデザイン エリアに表示されます。
これで、ラベルオブジェクトとプロパティを使用して、ラベルを変更できるようになります。「[ラベルのデザイン](#)」を参照してください。

デザインの変更が完了したら、そのラベルをローカルのコンピューターに保存します。保存したラベルは、最近使用したラベルの開くページに表示されます。このファイルはお気に入りとしても保存することができます。

既存のラベルを開く

ラベル デザインは、保存して何度でも再利用することができます。ファイルを  お気に入りとしてマークしておけば、簡単に見つけることができます。

開くことができるのは、現在選択されているラベル プリンターと互換性があるラベル ファイルのみです。

保存したラベル ファイルを開く

1.  開くを選択します。
2. ファイルを最近使用したラベルまたはお気に入りタブから選択するか、参照をクリックしてデバイスのラベル ファイルを見つけます。
3. 開くをクリックします。

よくある質問

操作方法

Google、Outlook、Apple の連絡先から住所を印刷するには？

1. ラベルの住所オブジェクトを追加または選択します。
2. [住所]プロパティペインの連絡先を管理のドロップダウンリストから、Google、Outlook、Apple (macOS) の連絡先を選択します。
3. 指示が出たらアカウントにログインします。連絡先が以下のリストに表示されます。
4. 使用する1つまたは複数の連絡先を選択します。
選択した各連絡先のラベルが作成され、印刷するラベルの枚数が印刷ボタンに表示されます。

データを別のアプリケーションからインポートするには？

連絡先またはスプレッドシートやデータベースなど別のアプリケーションからインポートしたデータを、ラベルのグループに印刷することができます。詳細については、[データのインポート](#)を参照してください。

DYMO ラベルからアドレス帳をDYMO Connect の連絡先リストとしてインポートすることもできます。[DYMO ラベルからアドレス帳をインポートする](#)を参照してください。

バーコードやQRコードを追加するには？

1.  追加リストから  バーコードまたは  QRコードを選択します。
新しいバーコードまたは QRコード オブジェクトがラベルに追加されます。
2. タイプを選択し、データをプロパティペインに入力します。
詳細については、[バーコードオブジェクトの追加またはQRコードオブジェクトの追加](#)を参照してください。

画像または図形を追加するには？

1.  追加リストから  図形または  線を選択します。
新しい図形または線のオブジェクトがラベルに追加されます。
2. 必要に応じてプロパティペインで図形または線の外観を変更します。
詳細については、[図形オブジェクトの追加または線のオブジェクトの追加](#)を参照してください。

枠線を追加するには？

枠線をラベルの単一のオブジェクトに追加する

- オブジェクトを選択し、プロパティペインの枠線を表示するをオンにします。

ラベルの周囲に枠線を追加する

1. プロパティペインの左側にある  タブを選択します。
2. 枠線を表示するをオンにします。

正しいラベルタイプを選択するには？

デザイン通りに印刷するには、使用しているラベルタイプとサイズをプリンターのラベルに一致させる必要があります。新しいページのラベルタイプを選択します。

1. まず、このラベルの出力先のプリンターリストからプリンターを選択します。
2. 次に、ラベルタイプリストからラベルタイプとサイズを選択します。ラベルによっては素材と色を選択することもできます。

お手持ちのラベルのタイプがわからない場合は、ラベルのパッケージに記載されたラベルの説明またはパーツ番号をご確認ください。

詳細については、[ラベルの選択](#)または[新しいラベルの作成](#)を参照してください。

プリンターを検索するには？

デバイスにインストールしてあるラベルプリンターはすべて、プリンターリストに表示されます。インストールはしているが現在接続していないプリンターは「接続解除」と表示されます。

ワイヤレスプリンターをお持ちの方でプリンターが表示されていない場合は、以下のようにしていることをご確認ください。

- プリンターがオンになっている。
- お使いのコンピューターと同じ無線LANにプリンターを接続している。

プリンターがオンの状態でネットワークに接続している場合は、ファイルメニューからネットワークプリンターの追加をクリックし、手順に従ってプリンターをリストに追加します。

プリンターが見つからない場合は、該当するプリンターの取扱説明書にある「トラブルシューティング」の章を参照するか、[DYMO カスタマー サポート](#)にお問い合わせください。

保存したデータを開くには？

1. ファイルバーの  開くをクリックします。
2. 開くラベルが最近使用したラベルまたはお気に入りに表示されない場合は、参照をクリックしてデバイスのラベルを検索します。
3. ラベルを選択し、開くをクリックします。

ラベルを購入するには？

-  ラベルをクリックします。

ラベルのデザイン

独自のカスタム デザインで複雑なデザインのラベルも作成できます。ラベルは一から作成するか、いずれかのサンプルレイアウトから始めることもできます。

DYMO Connect ソフトウェアには多数のサンプルレイアウトが含まれています。これらのサンプルレイアウトはラベルの用途別に並んでおり、特定の用途に必要なデザイン オブジェクトの大半が含まれています。

ラベルの用途のカテゴリは以下のとおりです。

シンプル	住所	値札
ファイル フォルダー	配送*	バーコード
保管 / 棚	名札*	メディア*

*LabelWriter プリンターを選択している場合にのみ利用できます。

空白ラベルもご利用になれます。

ラベルをデザインしたら、いつでも保存することができます。

デザイン オブジェクトの追加

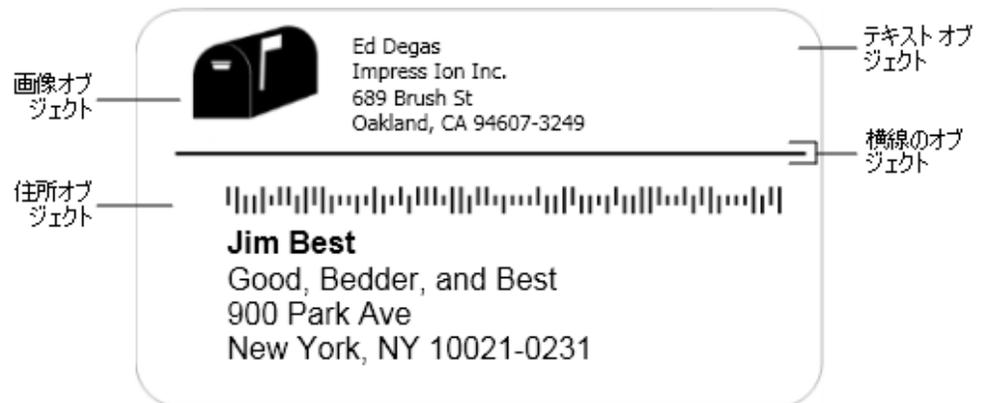
独自のカスタム ラベルレイアウトを作成するには、デザイン オブジェクトをラベルに追加します。

ラベルに追加できるオブジェクトのタイプは以下のとおりです。

 <u>テキスト</u>	 <u>バーコード</u>	 <u>線</u>
 <u>住所</u>	 <u>QRコード</u>	 <u>カウンタ</u>
 <u>画像</u>	 <u>図形</u>	 <u>日時</u>

ラベルに表示された各情報は、それぞれ個別のオブジェクトです。たとえば、以下に示した大サイズの送付先ラベルには、次のようなオブジェクトが含まれています。

- 受取人の住所を記入するための住所オブジェクト
- 差出人の住所を記入するためのテキストオブジェクト
- 会社のロゴまたは別の画像を挿入するための画像オブジェクト
- ロゴと差出人の住所を受取人の住所と分ける横線



オブジェクトを追加する

1.  追加をクリックし、追加するオブジェクトタイプを選択します。
2. ラベル上でオブジェクトを選択した状態で、オプション、フォーマット、レイアウトをプロパティペインで変更します。

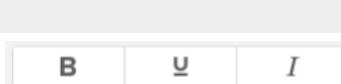
オブジェクトの詳細については、以下を参照してください。

- [テキストオブジェクトの追加](#)
- [住所オブジェクトの追加](#)
- [画像オブジェクトの追加](#)
- [バーコードオブジェクトの追加](#)
- [QRコードオブジェクトの追加](#)
- [図形オブジェクトの追加](#)
- [線オブジェクトの追加](#)
- [カウンタオブジェクトの追加](#)
- [日時オブジェクトの追加](#)

T テキストオブジェクトの追加

作成する多数のオブジェクトには、住所以外のテキストに使用するテキストオブジェクトが含まれています。フォントやフォントサイズ、テキストの配置などを変更したりして、テキストの外観をカスタマイズできます。選択したラベルオブジェクト内のすべてのテキストにプロパティを適用します。ラベルのテキストに別のスタイルを適用するには、スタイルごとに異なるテキストオブジェクトを追加する必要があります。

フォーマットおよびレイアウトプロパティ

	お使いのデバイスにインストールしているフォントファミリーが使用できます。
	フォント サイズ (ポイント単位)。ラベル オブジェクトのサイズ内に収まるようにフォントを自動的にサイズ調整します。特定のフォント サイズを設定する場合は、自動調整をオフにします。
	文字装飾 – 太字、下線、斜体。(フォントファミリーで使用可能な場合。)
	オブジェクト内のテキストの並び。
	オブジェクト内のテキストの横方向の配置。
	オブジェクト内のテキストの縦方向の配置。
	テキストの色。
	オブジェクトの背景色。
	オブジェクト内のテキストの回転。
	オブジェクトの周りの枠線。
	
	D1 ラベルにのみ適用。図形の端とオブジェクトの枠線との間のスペースを設定します。



住所オブジェクトの追加

住所オブジェクトはテキストオブジェクトに似ていますが、Microsoft Outlook、Google、Apple (macOS) の連絡先にある住所を印刷するように設計されています。また、住所をオブジェクトに入力することも可能です。

米国の住所を修正を選択し、標準の USPS 住所形式を使用しているか確認することもできます。この機能は、米国の住所を米国の住所データベースと照らし合わせて、間違いが見つかった場合はそれを修正し、郵便番号 + 4 つのコードから成る全 9 桁を自動的に追加します。



[連絡先を管理] 以外で、連絡先リストから住所オブジェクトに挿入した住所を修正することはできません。

住所リストから複数のラベルを印刷する場合は、住所ラベルレイアウトを作成し、印刷する住所のリストをインポートします。詳細については、[データのインポート](#)を参照してください。

住所オブジェクトを追加する

1.  追加リストから  住所を選択します。
新しい空白の住所オブジェクトがラベルに追加されます。
2. 連絡先の挿入をクリックし、表示された連絡先リストのいずれかから連絡先を選択します。
Google、Outlook、Apple のいずれかの連絡先を使用している場合は、アカウントにログインするよう求められます。ログイン後に連絡先リストが表示されます。
3. 使用する連絡先を選択し、挿入をクリックします。
4. または、**米国の住所を修正**を選択し、米国の住所を確認します。
5. または、住所の上または下にある Intelligent Mail[®] バーコードを追加します。
6. フォーマットおよびレイアウト プロパティを使って住所テキストの形式を設定します。

フォーマットおよびレイアウト プロパティ

	お使いのデバイスにインストールしてあるフォントファミリが使用できます。
	フォント サイズ (ポイント単位)。自動調整を利用すると、自動的にラベル オブジェクトに収まるフォント サイズに変わります。特定のフォント サイズを設定する場合は、自動調整をオフにします。
	文字装飾 – 太字、下線、斜体。(フォントファミリで使用可能な場合。)
	オブジェクト内のテキストの並び。
	オブジェクト内のテキストの横方向の配置。
	オブジェクト内のテキストの縦方向の配置。
	テキストの色。
	オブジェクトの背景色。
	オブジェクト内のテキストの回転。
	オブジェクトの周りの枠線。
	D1 ラベルにのみ適用。図形の端とオブジェクトの枠線との間のスペースを設定します。



画像オブジェクトの追加

画像オブジェクトを使用して、画像をラベルタイプに追加することができます。クリップアートやデフォルトのロゴを追加したり、クリップボードやデバイス上のファイルから画像を挿入したり、デスクトップの領域を画像としてキャプチャーしたり、デバイスのカメラを使って写真を撮ったりすることができます。

使用できる画像ファイルのタイプは以下のとおりです。

BMP GIF PNG JPG TIF

PDF ファイルをインポートし、ラベルに画像オブジェクトとして追加する部分をトリミングし、回転させることもできます。たとえば、PDF ファイルで送られてきた返信用送付先ラベルを印刷することができます。[PDF のインポート](#)を参照してください。

デザイン通りに印刷するには、独自の画像を1枚追加する際に、挿入する画像のサイズがラベルに表示される画像のサイズに近いことを確認してください。たとえば、配送ラベルの会社ロゴを印刷する場合、2L のサイズのロゴの画像をインポートしてはいけません。カラー画像を使用する場合も注意してください。印刷中に画像がグレースケールに変換されると、思いがけないことが起きる場合があります。できる限り、白黒またはグレースケールの画像を使用してください。

画像オブジェクトを追加する

1.  追加リストから  画像を選択します。
新しい画像オブジェクトがラベルに追加されます。
2. プロパティペインでは、次のいずれかを選択して画像をラベルの画像オブジェクトに挿入します。
 - 参照 - デバイスで画像を検索するのに使用します。
 - スクリーンの取り込み - DYMO Connect for Desktop ソフトウェアの真下にあるデスクトップの領域をキャプチャーします。
 - クリップアート - ソフトウェアに収録された多数のクリップアート画像を1枚選択するのに使用します。
 - 写真を撮る - デバイスのカメラを使って写真を撮ります。
 - クリップボードから - クリップボードにコピーした画像を貼り付けるのに使用します。
3. レイアウト プロパティを使用して、画像オブジェクトのレイアウトを変更します。

レイアウトプロパティ

塗りつぶし	オブジェクトの縦横比を変えないように画像のサイズを変更します。
拡大して表示	オブジェクトの縦横比を崩して画像のサイズを変更します。
	オブジェクト内の画像の横方向の配置。
	オブジェクト内の画像の縦方向の配置。
	オブジェクト内の画像の回転。
Set margins (inches)	D1 ラベルにのみ適用。画像の端とオブジェクトの枠線との間のスペースを設定します。

図形オブジェクトの追加

正方形、長方形、円、楕円をラベルに追加することができます。

図形オブジェクトを追加する

- 追加リストから 図形を選択します。
新しい図形オブジェクトがラベルに追加されます。既定では、オブジェクトにはオブジェクトのサイズに合わせた円が含まれています。
 - プロパティペインのオプションから必要な図形を選択します。
 - ラベルのオブジェクトのサイズを変更し、図形のサイズを変更します。「[オブジェクトのサイズ変更](#)」を参照してください。
 - レイアウトプロパティを使用して図形のアウトラインまたは塗りつぶし色を変更します。
- 図形をダブルクリックしてラベルに追加することもできます。

線のプロパティ

	線の色。
	塗りつぶしの色。
	線のスタイル。
<input type="text" value="1 pts"/>	線の幅。
	オブジェクト内の図形の回転。直角三角形および二等辺三角形にのみ適用。

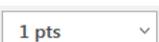
線のオブジェクトの追加

正方形、四角形、円、楕円をラベルに追加することができます。

図形オブジェクトを追加する

1.  追加リストから  線を選択します。
新しい線のオブジェクトがラベルに追加されます。
2. プロパティ ペインのオプションから線の角度を選択します。
3. ラベルのオブジェクトのサイズを変更し、線のサイズを変更します。「[オブジェクトのサイズ変更](#)」を参照してください。
4. レイアウト プロパティを使用して、色または線のスタイルを変更します。
 線のオプションをダブルクリックしてラベルに追加することもできます。

線のプロパティ

	線の色。
	線のスタイル。
	線の幅。
	オブジェクト内の線の回転。対角線にのみ適用。
	D1 ラベルのみに適用。線の端とオブジェクトの枠線との間のスペースを設定します。

バーコードオブジェクトの追加

さまざまな形式やタイプのバーコードを含んだラベルを作成できます。選択できるバーコードタイプには、Code 39(別名「Code 3 of 9」)、Code 128、Interleaved 2 of 5、UPC、EAN、UCC/EAN 128、ITF-14、Codabar、GS1 DataMatrix、PLANET、POSTNET、PDF417 があります。

-  このドキュメントでは、バーコードタイプごとの違いを既に理解しており、組織内でバーコードを導入する準備が整っているものとして話を進めます。バーコードについて詳しく理解する必要がある場合は、わかりやすいさまざまな解説書がネット書店にそろっています。

バーコードを追加する

1.  追加リストから  バーコードを選択します。
新しいバーコードオブジェクトがラベルに追加されます。バーコードタイプの初期設定は Code 128 Auto です。
2. バーコードタイプを選択し、データをプロパティペインに入力します。
3. 必要に応じてバーコードの文字をバーコードの上または下に表示することもできます。
4. バーコードのサイズをレイアウトプロパティで変更します。

フォーマットおよびレイアウトプロパティ

<input checked="" type="checkbox"/> Show text <input type="checkbox"/> Above <input checked="" type="checkbox"/> Below Arial 12 B <u>U</u> <i>I</i>	バーコードの文字を表示する場合は、表示する位置をバーコードの上または下にするか選べます。さらに、テキストのフォント、サイズ、文字装飾も選択できます。
Medium	ラベル上のバーコード オブジェクトのサイズ。
	オブジェクト内のバーコードの横方向の配置。
	オブジェクト内のバーコードの回転。
<input checked="" type="checkbox"/> Set margins (inches)	D1 ラベルにのみ適用。バーコードの端とオブジェクトの枠線との間のスペースを設定します。

QR コード オブジェクトの追加

QR コード オブジェクトを使用して、QR コードをラベルに追加することができます。これには、テキスト、電話番号、携帯ショートメール (SMS)、vCard、URL データを使用できます。

 このドキュメントでは、異なるQRコードタイプ間の違いを既に理解しており、組織内でQRコードを導入する準備が整っていることを想定しています。QRコードについて詳しく理解する必要がある場合は、役に立つ様々なハウツー本をネット上で見つけることができます。

QR コード オブジェクトを追加する

-  追加リストから  QR コードを選択します。
新しい QR コード オブジェクトがラベルに追加されます。既定では、オブジェクトにはオブジェクトのサイズに合わせた円が含まれています。
- Qr コードタイプを選択し、データをプロパティ ペインに入力します。
- QR コードのサイズをレイアウト プロパティで変更します。

レイアウト プロパティ

Auto

QR コードのサイズ。既定では自動に設定していません。

Set margins (inches)

D1 ラベルにのみ適用。図形の端とオブジェクトの枠線との間のスペースを設定します。

🕒 日時オブジェクトの追加

日付オブジェクトを含んだラベルに表示された現在の日時を自動的に印刷することができます。日時は自動的に更新されます。

日付のみ、時刻のみ、その両方を印刷したり、日時テキストの前後に表示されたテキストを選択したりできます。日時に使用する形式を変更したり、ラベル上の日時の外観と位置を調節したりすることもできます。

 ラベルで直接編集できるのは、日付または時刻データの前後のテキストのみです。日付または時刻を変更する場合は、プロパティを使用します。日時を完全に削除するには、日時オブジェクト全体を削除する必要があります。

日時オブジェクトを追加する

-  追加リストから  日時を選択します。
新しい日時オブジェクトがラベルに追加されます。既定では、オブジェクトに現在の日付が表示されます。
- ラベルの日時を選択します。
- 日時をご希望に合わせて表示するように、プロパティペインでオプションをカスタマイズします。
- フォーマットおよびレイアウトプロパティを使用してカウンタオブジェクト内のテキストの形式を設定します。

フォーマットおよびレイアウトプロパティ

	お使いのデバイスにインストールしているフォントファミリーが使用できます。
	フォントサイズ (ポイント単位)。ラベルオブジェクトのサイズ内に収まるようにフォントを自動的にサイズ調整します。特定のフォントサイズを設定する場合は、自動調整をオフにします。
	文字装飾 - 太字、下線、斜体。(フォントファミリーで使用可能な場合。)
	オブジェクト内のテキストの並び。
	オブジェクト内のテキストの横方向の配置。
	オブジェクト内のテキストの縦方向の配置。
	テキストの色。
	オブジェクトの背景色。
	オブジェクト内のテキストの回転。
	オブジェクトの周りの枠線。
	
	D1 ラベルにのみ適用。図形の端とオブジェクトの枠線との間のスペースを設定します。

カウンタ オブジェクトの追加

カウンタ オブジェクトは、一連のラベルに自動的に連番を振ります。

カウンタ番号の前後に表示するテキストを定義することができます。開始番号、カウントに使用する増分(1、2、10 など)、番号の最小幅も指定することができます、先頭に0があります。

フォーマットおよびレイアウト プロパティを使用して、番号とテキストのフォント設定を変更したり、テキストと番号の横方向と縦方向の配置を変更したりします。



ラベルで直接編集できるのは、カウンタ データの前後のテキストのみです。カウンタ データを変更する場合は、プロパティを使用します。カウンタ データを削除するには、カウンタ オブジェクト全体を削除する必要があります。

カウンタ オブジェクトを追加する

1.  追加リストから**#**カウンタを選択します。
2. ラベル上のカウンタ オブジェクトを選択します。
3. プロパティ ペインで、開始番号を入力します。
4. 増分を入力します。
5. 必要に応じて、プレフィックスの追加およびサフィックスの追加を選択し、目的のテキストを入力します。
6. 必要に応じて、先頭の0の追加を選択し、桁数を入力します。
7. フォーマットおよびレイアウト プロパティを使用してカウンタ オブジェクト内のテキストの形式を設定します。
形式の選択は、順番内のすべてのラベルに適用します。
8. 一連のラベルを印刷する準備ができたなら、印刷の横のをクリックし、ラベルに番号を振ります。

フォーマットおよびレイアウト プロパティ

	お使いのデバイスにインストールしているフォントファミリーが使用できます。
	フォント サイズ (ポイント単位)。ラベル オブジェクトのサイズ内に収まるようにフォントを自動的にサイズ調整します。特定のフォント サイズを設定する場合は、自動調整をオフにします。
	文字装飾 - 太字、下線、斜体。(フォントファミリーで使用可能な場合。)
	オブジェクト内のテキストの並び。
	オブジェクト内のテキストの横方向の配置。
	オブジェクト内のテキストの縦方向の配置。
	テキストの色。
	オブジェクトの背景色。
	オブジェクト内のテキストの回転。
	オブジェクトの周りの枠線。
	
	D1 ラベルにのみ適用。図形の端とオブジェクトの枠線との間のスペースを設定します。

PDF のインポート

PDF ファイルを開き、ラベルに画像オブジェクトとして追加する部分をトリミングし、回転させることができます。たとえば、PDF ファイルで送られてきた返信用送付先ラベルを 4" x 6" ラベルに印刷することができます。

スクリーンの取り込み機能を使って、開いているファイルやデスクトップの画像をキャプチャすることもできます。

 バーコードのサイズを変更すると、読み取りやすさに影響を及ぼす可能性があります。

PDF をインポートする

1. 画像オブジェクトのプロパティペインから、参照をクリックします。
2. 使用する PDF を見つけて開きます。
3. インポートする領域を含んだページを選択し、選択をクリックします。
4. ページから画像をトリミングまたは回転させ、画像の追加をクリックします。画像が画像オブジェクトとしてラベルに追加されます。

スクリーンの取り込みの使用

画像プロパティペインのスクリーンの取り込み機能を使用すると、ドキュメントまたはデスクトップの一部を取り込んで、ラベルの画像として挿入することができます。

スクリーンの取り込みを使用する

1. 画像のプロパティペインで、スクリーンの取り込みをクリックします。
2. マウスをドラッグし、画像として取り込みたいスクリーンのエリアを選択します。
3. 表示したい画像になっていることを確認し、画像の使用をクリックします。

画像が画像オブジェクトとしてラベルに追加されます。

オブジェクトの選択

ラベルのオブジェクトを選択する方法はいくつかあります。

単一のオブジェクトを選択する

- ▶ オブジェクトをクリックします。

複数のオブジェクトを選択する

1. 最初のオブジェクトを選択します。
2. Ctrl キーを押しながら、追加のオブジェクトをクリックします。

他のオブジェクトの下にあるオブジェクトを選択する

1. オブジェクトを右クリックし、選択をクリックします。
2. 選択する1つまたは複数のオブジェクトをクリックするか、すべて選択をクリックしてラベルのオブジェクトをすべて選択します。

オブジェクトの操作

ラベル上のオブジェクトは、移動、コピー、削除することができます。

オブジェクトを移動する

- ▶ オブジェクトを選択してラベル上の新しい位置までドラッグします。

オブジェクトをサイズ変更する

- ▶ オブジェクトを選択し、いずれかのハンドルを希望の方向にドラッグしてサイズ変更します。高さとの比率を保ったままサイズを変更する場合は、コーナーハンドルをドラッグします。

オブジェクトをコピーする

1. オブジェクトを右クリックします。
コンテキストメニューが表示されます。
2. コピーをクリックします。
オブジェクトがクリップボードにコピーされます。オブジェクトは同じラベルまたは新しいラベルに貼り付けることができます。

オブジェクトを削除する

1. オブジェクトを右クリックします。
コンテキストメニューが表示されます。
2. 削除をクリックします。
オブジェクトが削除されます。

オブジェクトの配置

複数のオブジェクトを左右、上下、またはその両方に正確に配置することができます。選択している配置に最も近い側を使ってオブジェクトを相互に配置します。たとえば、3つのテキストオブジェクトを選択し、左揃えをクリックすると、オブジェクトの左側はラベルの左端にあるオブジェクトに合わせて配置されます。

選択したオブジェクトをラベルの端を基準とした位置に配置することもできます。

オブジェクトを相互に配置する

1. 配置するオブジェクトを選択します。

2.  をクリックします。

3. 適用する横方向と縦方向の配置オプションを選択します。

オブジェクトが選択に応じてラベル上に配置されます。

オブジェクトをラベル内に配置する

1. 配置するオブジェクトを選択します。

2.  をクリックします。

3. 適用する配置オプションを選択します。

オブジェクトが選択に応じてラベル上に配置されます。

オブジェクトの整列

オブジェクトをラベル上の他のオブジェクトの前/後ろ、正面/背面に移動させることができます。

オブジェクトを整列させる

1. オブジェクトを選択し、  をクリックします。
2. いずれかのオプションを選択し、ラベル上の他のオブジェクトを基準にして、選択したオブジェクトを前/後ろに移動します。

オブジェクトの名前付け

ラベルのオブジェクトにご希望の名前を付けることができます。既定では、オブジェクトには TextObject1 や TextObject2 などの名前が付けられています。SDK を使用するサードパーティの開発者以外がこの機能を使用することは、ほとんどありません。

オブジェクト名を変更する

1. ...をクリックし、ラベルのプロパティペインを開きます。
2. 名前を変更するオブジェクトの横のチェックボックスをオンにします。
3. アイコンをクリックし、名前を編集します。

連絡先リストを使用する

DYMO Connect ソフトウェアには、DYMO ラベルソフトウェアのアドレス帳に似た連絡先リスト機能を搭載しています。DYMO Connect 連絡先リストには、よく使用する住所や他の情報を保存できます。連絡先リストはいくつでも作成できます。

連絡先リストでできること:

- マウスをクリックするだけで、連絡先リストの情報をラベルの住所オブジェクトに挿入。
- 連絡先リストを無制限に作成。
- Outlook、Google、Apple (macOS) の連絡先の住所を使ってラベルを印刷。
- DYMO ラベルソフトウェアのアドレス帳から住所の一覧をインポート。
- 連絡先リストを検索して目的の住所をすばやく検出。
- 連絡先リストを簡単に切り替え。

連絡先を印刷する

DYMO Connect の連絡先リストまたは Google、Outlook、Apple (macOS) の連絡先から 1 つ以上の連絡先を使ってラベルを作成できます。

連絡先リストからラベルを作成する

1. ラベルの住所オブジェクトを選択します。
2. [住所オブジェクト]プロパティペインで、連絡先を管理のドロップダウンリストから使用する連絡先リストを選択します。
3. 印刷したい連絡先を選択するか、すべて選択をクリックします。

選択したすべての連絡先のラベルが作成されます。印刷ボタンに作成したラベルの数と印刷するラベルの数が表示されます。

連絡先を追加する

住所を DYMO 連絡先リストに個別に追加するには、情報を入力するかデータを別のソースから貼り付けます。

エントリーを DYMO 連絡先リストに追加する

1. 連絡先を管理を選択します。
2. 新規作成をクリックします。
3. 新しく追加する住所を入力するか、テキストボックスに貼り付けます。
4. リストに追加をクリックします。
新しい住所がリストにアルファベット順に表示されます。

ラベルから連絡先を追加する

編集エリアでラベルに住所を入力する場合、その住所を DYMO Connect 連絡先リストの連絡先として保存できます。

住所をラベルから連絡先リストに追加するには

1. 連絡先リストに追加する住所が入っている住所オブジェクトを選択します。
2. 住所オブジェクトの右下のアイコンをクリックし、住所を追加する連絡先リストを選択します。
選択した連絡先リストに住所が保存されます。

連絡先を編集する

連絡先リストの住所はいつでも編集できます。

-  住所修正ツールを使用する以外に、DYMO Connect 内で Outlook、Google、Apple (macOS) の連絡先を変更することはできません。これらの連絡先を編集してから DYMO Connect で使用してください。

アドレス帳の住所を編集する

1. [住所オブジェクト]プロパティ ペインまたはファイル メニューから、**連絡先を管理**を選択します。
2. 編集する連絡先リストを選択します。
3. 住所をダブルクリックし、必要な部分を変更します。
4. 住所以外の部分をクリックして変更を保存します。

住所を修正する

DYMO 住所修正ツールを使用すると、連絡先リストに記載された米国の住所を米国の住所データベースと照合して、9 桁の郵便番号を自動的に追加できます。

-  住所修正ツールを使用して、印刷前に DYMO Connect 内で Outlook、Google、Apple (macOS) の連絡先の住所を修正できますが、変更した内容をそれぞれの連絡先に保存することはできません。DYMO Connect で変更した内容は保存できないので、これらの連絡先を編集してから DYMO Connect で使用してください。

[連絡先を管理]以外で、連絡先リストから住所オブジェクトに挿入した住所を修正することはできません。

ラベルに記載された 1 件の住所を修正する

1. 修正するラベルの住所オブジェクトを選択します。
2. [住所オブジェクト]プロパティ ペインで、**米国の住所を修正**をクリックします。

連絡先リストの住所を修正する

1. [住所オブジェクト]プロパティ ペインまたはファイル メニューから、**連絡先を管理**を選択します。
2. 連絡先リストから修正する 1 つまたは複数の住所を選択します。
3. **住所を修正**をクリックします。

 修正した住所の横にアイコンが表示されます。

連絡先を削除する

連絡先リストから1つまたは複数の連絡先を削除できます。連絡先を削除すると、その連絡先はリストから完全に削除されます。

連絡先を連絡先リストから削除するには

1. [住所オブジェクト]プロパティ ペインまたはファイルメニューから、**連絡先を管理**を選択します。
2. 削除する連絡先を選択します。
3. **削除**をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
4. **削除**をもう一度クリックします。

新しい連絡先リストを作成する

住所やその他のデータを収録する複数の連絡先リストを作成できます。住所やデータを連絡先リストにインポートするには、最初に情報をインポートするリストを作成する必要があります。

新しい連絡先リストを作成するには

1. [住所オブジェクト]プロパティ ペインまたはファイルメニューから、**連絡先を管理**を選択します。
2. 連絡先リストのドロップダウンメニューから、**新しいリストを作成**を選択します。
3. 新しいリストの名前を入力します。

新しい空白のリストが表示されます。これで、データを直接追加したり、DYMO ラベルからアドレス帳をインポートしたりすることができます。

データを連絡先リストにインポートする

別のアプリケーションで既に作成した住所またはデータを使用する場合は、リストを Excel ファイルまたは区切りファイルにインポートできるようにする必要があります。区切りファイルでは、入力行ごとにカンマまたはタブ文字で区切り、入力ごとに復帰改行で区切ります。ファイルは Excel ファイルを使用するか、*.csv または *.txt 拡張子が必要です。リストをエクスポートしたら、住所またはデータを新しい連絡先リストか既存の連絡先リストにインポートすることができます。



米国以外の国ごとに区切り文字が異なる場合があります。データをインポートする場合、リスト区切り文字は使用する Windows リスト区切り記号(または地域設定)によって変わります。

インポート中は、インポートする情報を連絡先に表示したい順に並べることができます。スプレッドシートの中からインポートする特定のシートだけを選択できます。フィールドラベルの場合は、インポートファイルのデータをスクロールして、最初のヘッダ列をインポートするデータから除外することもできます。

データを連絡先リストにインポートする

1. [住所オブジェクト]プロパティ ペインで、**連絡先を管理**をクリックします。
2. スプレッドシートから新しいリストにインポートまたは連絡先リストドロップダウンから**現在のリストにインポート**を選択します。
3. インポートするファイルを見つけ、**開く**をクリックします。

4. → 矢印を使って左のフィールドを右に移動し、住所を希望する順に並べ替えられるようにするために、句読点と改行を挿入します。
5. 終了したら、インポートをクリックします。
選択した連絡先リストにデータがインポートされます。

DYMO ラベルからアドレス帳をインポートする

DYMO ラベルソフトウェアで以前に作成したアドレス帳を開くことができます。

DYMO ラベルのアドレス帳を開くには

1. [住所オブジェクト] プロパティ ペインまたはファイルメニューから、**連絡先を管理** を選択します。
2. 連絡先リストのドロップダウンメニューから、DYMO ラベルからインポートを選択します。
3. インポートする DYMO ラベルのアドレス帳ファイルに移動し、開くをクリックします。

DYMO ラベルのアドレス帳ファイルは、コンピューターの [ドキュメント] > [DYMO ラベル] > [アドレス帳] フォルダーにあります。

DYMO ラベルのアドレス帳ファイルと同じ名前の新しい DYMO Connect 連絡先リストが作成されます。

連絡先リストを切り替える

複数の連絡先リストを作成している場合は、ラベルの作成に使用するリストを選択できます。

連絡先リストを切り替えるには

- ▶ 住所オブジェクト ペインで、連絡先を管理の下にあるドロップダウンリストから開くリストを選択します。
そのリストの連絡先の中からラベル用に選択することができます。
- ▶ 連絡先を管理 ページで、ドロップダウンリストから開くリストを選択します。

データのインポート

住所録またはその他のデータファイルのデータをラベルのグループに印刷する場合、データをインポートしてから各データフィールドをラベルのオブジェクトに割り当てることができます。データはテキスト、住所、バーコード、テキストまたは URL タイプの QR コード オブジェクトに割り当てることができます。

データは Microsoft Office または Google の連絡先からインポートできます。また、データを.csv ファイルにエクスポートすれば、スプレッドシートやデータベースからデータをインポートすることもできます。

データのインポートは、以下の 5 つのステップで実行できます。

1. ラベルのレイアウトを作成する。「[ラベルのデザイン](#)」を参照してください。
2. インポートするデータを選択する。「[連絡先のインポート](#)」または「[スプレッドシートまたはデータベースのデータのインポート](#)」を参照してください。
3. データフィールドをラベルのレイアウトのオブジェクトに割り当てる。「[データフィールドの割り当て](#)」を参照してください。
4. ラベルを印刷する。
5. 後でインポートするためにレイアウトを保存する。

連絡先のインポート

Microsoft Outlook または Google の連絡先から連絡先のすべてまたは一部をインポートし、連続するラベルを作成して印刷することができます。

連絡先を選択する

1.  インポートをクリックします。
2. Google または Outlook の連絡先を選択します。
3. 指示が出たらアカウントにログインします。
すべての連絡先を自動的に選択した状態で連絡先リストが表示されます。
4. インポートする連絡先を選択し、インポートをクリックします。

次に、連絡先データをラベル デザインに割り当てます。[データフィールドの割り当て](#)を参照してください。

スプレッドシートまたはデータベースのデータのインポート

Microsoft Excel のスプレッドシートまたは Microsoft Access のデータベース テーブルのデータをインポートすることができます。.csv (コンマ区切り値) ファイルまたはユニバーサル データリンク (UDL) ファイルとして前に保存したデータをインポートすることもできます。データのエクスポート方法については、Microsoft Excel または Microsoft Access のマニュアルを参照してください。ユニバーサル データリンク (*.UDL) などの詳細については、このソフトウェアの説明を参照してください。

データファイルからデータをインポートする

1.  インポートをクリックします。
2. [参照](#)をクリックします。

3. デバイスの .csv ファイルを選択し、開くをクリックします。
すべてのデータフィールドを自動的に選択した状態でデーターを表示します。
4. インポートするデータフィールドを選択し、インポートをクリックします。
次に、データフィールドをラベル デザインに割り当てます。「データフィールドの割り当て」を参照してください。

データフィールドの割り当て

データソースのすべてのフィールドのリストから使用するフィールドを選択することで、インポートしたデータからラベル上のオブジェクトにフィールドを割り当てます。ラベルに既に配置している他のテキストの前後にデータを配置することができます。複数のフィールドを同じオブジェクトに割り当て、他のテキスト、スペース、句読点を追加することもできます。たとえば、名フィールドを選択し、テキストオブジェクトに配置し、スペースを入力してから、スペースの後に配置される姓フィールドを選択します。フィールドのほかにラベルに配置するテキストは、各ラベルに表示されます。選択したデータを表示するには、**データの表示**を選択します。テーブル データ内のデータを変更することはできません。データを変更する場合はソースファイルで行い、その後データをもう一度インポートする必要があります。

データフィールドを割り当てる

1. ラベル上のテキスト、住所、バーコード、または URL かテキストの QR コードオブジェクトを選択します。
 アイコンがオブジェクトの近くに表示されます。
2. フィールドのリストがまだ表示されていない場合、 をクリックして表示します。
3. カーソルの位置に表示する最初のフィールドを選択します。
4. 必要に応じて、各ラベルに表示するテキストを入力します。
5. 同じオブジェクト内に表示する他のフィールドを選択します。
6. フィールドをドラッグし、オブジェクト内の位置に移動します。

ラベルプリンターについて

DYMO Connect ソフトウェアは、2 種類のラベルプリンターをサポートしています。DYMO LabelWriter プリンターと DYMO LabelManager D1 テーププリンターの 2 種類のラベルプリンターに対応しています。対応する具体的なモデルは以下のとおりです。

LabelWriter プリンター

LabelWriter 550
 LabelWriter 550 Turbo
 LabelWriter 5XL
 LabelWriter Wireless
 LabelWriter 450/450 Turbo
 LabelWriter 450 Twin Turbo
 LabelWriter 4XL
 LabelWriter 450 Duo

LabelManager プリンター

LabelManager Executive 640CB
 MobileLabeler
 LabelManager 420P
 LabelManager 280
 LabelManager PnP

ラベルプリンター、仮想ラベルプリンター、 D1 ラベルプリンター、 LabelWriter プリンターのいずれもインストールしていない場合は、そのタイプのプリンターをインストールせずにラベルをデザインして保存できます。いずれかのタイプのラベルプリンターをインストールしたら、仮想プリンターは表示されなくなります。

 仮想プリンターを選択中にデザインしたラベルを印刷するには、先に実際のラベルプリンターに接続して選択する必要があります。

いくつかのプリンターには、ソフトウェア内でアクセスできる特別な機能が搭載されています。詳細については、以下のトピックを参照してください。

- [LabelWriter Wireless の拡張機能](#)
- [MobileLabeler の機能](#)
- [LabelWriter 450 Twin Turbo の機能](#)

プリンターが表示されない場合

プリンターに接続しようとするときに発生する問題の多くは、非常に簡単に解決できる場合があります。

以下を確認してください。

USB端子に続したプリンター

- 付属の USB ケーブルを使用して、プリンターをコンピューターに接続する前に、ソフトウェアを必ずインストールします。これにより、プリンターを初めて接続するときに、正しいプリンタードライバをインストールすることができます。

LAN 接続済みプリンター

- LabelWriter プリンターに印刷される各コンピューターにソフトウェアを必ずインストールします。次に、ファイルメニューのネットワークプリンターの追加からプリンターを DYMO Connect for Desktop に追加します。
- Ethernet とワイヤレス ネットワークの両方を使用する場所では、ワイヤード(有線)とワイヤレス ネットワーク間でトラフィックを転送するようにルーターを必ず設定します。

LabelWriter Wireless プリンター

- プリンターがオンになっていることを確認します。
- ルーターがオンになっており、無線LANが使用可能であることを確認します。
- お使いのコンピューターまたはデバイスと同じ無線LANに、プリンターを接続していることを確認します。
- ゲスト用の無線LANまたは公衆無線LANに設けられている制約が問題を引き起こすことがあるので、どちらにもプリンターをつないでいないことを確認してください。
- プリンターをワイヤレス ルーターの近くに移動させます。プリンターとルーターの間に障害物が何もないと、プリンターの動作が良くなります。また、プリンターとルーターとの距離が近いほど、通信速度も速くなります。
- コンピューターにインストールしているファイアウォールやセキュリティプログラムが、プリンターとコンピューターの間の通信を妨害していないことを確認します。
- 仮想プライベートネットワーク (VPN) をオンにしていないことを確認します。

LabelWriter Wireless プリンターのトラブルシューティング情報については、完全版のユーザーガイドを参照してください。ヘルプメニューからユーザーガイド>LabelWriter Wireless の順に選択します。

無線LAN接続に関するヘルプは、ネットワーク上の LabelWriter Wireless プリンターのセットアップについて説明した動画をご覧ください。

MobileLabeler Bluetooth® プリンター

接続に関する問題の多くは、電源アダプターを引き抜き、バッテリーを取り外してからもう一度挿入することですぐに解決できます。

安全面を考慮して、LiPO バッテリーを取り扱う場合は、すべてのケーブルを外しておく必要があります。

MobileLabeler の接続に関する問題については、以下を確認してください。

問題	解決策
ラベルメーカーの状態が接続解除になっているか、プリンターのリストに表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ■ ラベルメーカーの電源がオンになっていることを確認します。 ■ ラベルメーカーとデバイスとをペアリングしていることを確認します。 ■ DYMO Connect を終了してから、再起動します。
ペアリング済みのラベルメーカーとデバイスをBluetooth接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ■ ラベルメーカーの電源がオンになっていることを確認します。 ■ ラベルメーカーのペアリングをデバイス上で無効にし、もう一度ペアリングします。

MobileLabeler プリンターのトラブルシューティング情報については、完全版のユーザーガイドを参照してください。ヘルプメニューからユーザーガイド>MobileLabelerの順に選択します。

ご不明な点がある場合は、DYMO Web サイトのサポート セクション (<http://support.dymo.com>) にアクセスしてください。

LabelWriter Wireless プリンター

DYMO LabelWriter Wireless ラベル プリンターをお使いのコンピューターのUSB端子に接続している場合は、プリンターの無線LAN接続モードを変更できます。

無線LAN接続モードを変更する

1. LabelWriter Wireless プリンターを選択します。
2. プリンターの状態をクリックします。
LabelWriter Wireless プリンターのステータス ページが表示されます。
3. 以下のいずれかの無線LAN接続オプションを選択します。
 - クライアント-プリンターを無線LAN接続できるように、クライアント モードをオンにします。
プリンターを無線LAN接続する方法については、『LabelWriter Wireless ユーザーガイド』を参照してください。
 - アクセス ポイントをオンにする-プリンターのアクセス ポイントをオンにして直接接続します。
いずれのモードもオンになっていない場合、無線LAN接続モードはオフになっています。
4. ページを閉じます。

ネットワークプリンターの追加

DYMO ワイヤレス ラベル プリンターを無線LAN接続で使用する場合は、プリンターを先に追加しないと、プリンター リストに表示されません。

ワイヤレス プリンターを追加する

1. プリンターを無線LAN接続できるように設定しているか確認します。
2. ファイル メニューからネットワーク プリンターの追加を選択します。
ネットワークプリンターの追加ページが表示されます。
3. 指示に従って、プリンターをソフトウェアに追加します。

プリンターをお使いのコンピューターに追加できない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

MobileLabeler ラベル メーカー

DYMO MobileLabeler ラベル メーカーをお使いのコンピューターのUSB端子に接続している場合は、Bluetooth® ワイヤレス技術を利用して、ラベル メーカーを接続するための検出オプションを変更することができます。

検出モードを設定する

1. プリンターリストから DYMO MobileLabeler ラベル メーカーを選択します。
2. プリンターの状態をクリックします。
MobileLabeler プリンターの状態ページが表示されます。
3. 以下のいずれかの検出オプションを選択します。
 - 通常 - 常時検出可能 (デフォルト)
 - 制限付き - 2 分間検出可能
 - オフ - 検出不能
4. ページを閉じます。

LabelWriter 450 Twin Turbo プリンター

LabelWriter 450 Twin Turbo プリンターは、2 つのラベル プリンターが隣り合わせになって一体化したプリンターで、2 種類のラベルをセットして印刷できるようになっています。

LabelWriter Twin Turbo プリンターをコンピューターにインストールしている場合は、各ラベル ロールがプリンターリストに別々のプリンターとして表示されます。以下の例をご覧ください。



LabelWriter Twin Turbo プリンターに出力する場合は、印刷するラベル ロールを強調表示しているプリンターを選択する必要があります。

両方のラベル ロールの使用

LabelWriter Twin Turbo プリンターでは、ロールに残った枚数以上のラベルを印刷する必要がある場合、1 つのラベル ロールからもう1つのラベル ロールに自動的に切り替えることができます。たとえば、225 件の住所を記載したメーリングリストがあり、ラベル ロールの残り枚数が 100 枚程度であるとします。両方のロールを選択し、左のロールのラベルを使い切ったら、今度は右のロールで印刷が自動的に開始され、すべてのラベルが印刷されます。

この選択を使用するには、同じタイプのラベルを左右のプリンターにセットする必要があります。

両方のロールを使用する

1. 同じタイプのラベルをプリンターの各側にセットします。
2. Twin Turbo プリンターのいずれかをプリンターリストで選択し、プリンターの状態をクリックします。
3. 印刷エリアの両方のロールを使用のチェックボックスをオンにします。

両方のロールを使用のチェックボックスをオンにすると、選択したプリンターの画像が変わり、両側のプリンターを使用することを示します。

印刷品質の調整

LabelWriter プリンターでラベルを印刷するときの印刷品質を変更することができます。この設定は、バーコードや一部の画像を印刷するときにより重要になります。印刷品質はラベルを1度だけ印刷する場合でも変更できます。また、基本設定ページから印刷品質の既定の設定を変更して、LabelWriter プリンターで印刷するたびにこの設定を利用することもできます。

印刷品質を選択する

1. LabelWriter プリンターでラベルを印刷する準備ができたなら、印刷ボタンの横にある  をクリックします。
2. 以下のいずれかの印刷品質設定を選択します。
 - テキスト - ほとんどのラベルに使用する既定の印刷設定を使用します。
 - バーコードおよびグラフィックス - バーコードと画像の印刷品質を最適化します。
 - 自動 - ラベルの内容に基づいて印刷品質を自動的に判断します。
3. 印刷をクリックします。

ラベルについて

DYMO Connect ソフトウェアと互換性のある DYMO ラベル プリンターはすべて、正規の DYMO LW LabelWriter ラベル ロールまたは正規の DYMO D1 テープカセットを使用します。

プリンターに必要なのはラベルのみです。当社では、正規の DYMO ラベル を使用されることをおすすめします。ラベルについてはwww.dymo.comをご覧ください。

 正規の DYMO ラベル 以外のラベルの使用により生じる不具合または破損に関して、当社は保証いたしません。DYMO のラベル プリンターはサーマル印刷技術を用いているため、特別にデザイン・製造した専用ラベルを使用する必要があります。正規の DYMO ラベル 以外のラベルで使用している保護コーティングとは互換性がなく、印刷時に不具合が生じたり、プリンターの故障の原因になったりする場合があります。

LW ラベル ロール

LabelWriter ラベルはさまざまな素材、色、形状、サイズのものが入っており、住所、配送、ファイルフォルダー ラベルなどをご用意しています。

LabelWriter 550 シリーズのプリンターは、正規の DYMO LW ラベルでのみ動作します。正規の DYMO LW ラベルは、Automatic Label Recognition™ をサポートしています。これによって、

DYMO ソフトウェアはプリンターにセットされたラベルのサイズやロールに残っているラベル数

など、ラベルに関する情報を受け取ることができます。

D1 ラベル カセット

DYMO D1 ラベル カセットには、さまざまな色、素材、幅のものが入っています。

LabelManager と MobileLabeler ラベル メーカーは、DYMO D1 ラベル カセットを使用します。LabelWriter 450 Duo は、LabelWriter ラベル ロールと D1 ラベル カセットの両方を使用します。

LW ラベル ロール

DYMO LabelWriter プリンターは、高度なダイレクト サーマル方式の印刷技術を利用して、特別処理した感熱ラベルに印刷します。つまり、ラベルを印刷するときに、トナーやインクカートリッジ、リボンを交換する必要がありません。

ダイレクト サーマル印刷の仕組みは、サーマル プリント ヘッドから特別処理されたラベルに熱を移動させることにあります。サーマル プリント ヘッドには小型の発熱素子 (ヒート エLEMENT) が並んでいて、これを特別処理したラベルに押し付けます。発熱素子 (ヒート エLEMENT) が特別処理したラベルに触れると、サーマル反応によってラベルの特定点が黒くなります。

DYMO ラベル プリンターに必要なのはラベルのみです。当社では、DYMO ブランドのラベルを使用していただけよう願っています。

ラベルの寿命は、ラベルをどう使用するかによって決まります。LabelWriter サーマル ラベルは、以下の方法で消えてしまう可能性があります。

- 長期間にわたり直射日光や蛍光灯にさらす
- 長期間にわたり高温にさらす

■ 可塑剤に接触（プラスチック製のリング バインダーの上にラベルを置くなど）する LabelWriter ラベルが入っていた箱に入れた状態なら、寿命は 18 か月です。ラベルを短期間しか使用しないのであれば（封筒やパッケージなど）、印字が消えてしまっても問題はありません。ファイル キャビネットに保管するファイルのラベル付けに使用する場合は、長い年月をかけて少しずつ印字が消えていきます。ノートの隅に貼ったラベルを日が当たる棚の上に置いておくと、数か月以内に消えていく兆しが見られます。

未使用のラベルの寿命を長持ちさせるには、ラベルが入っていた黒い袋に入れて、低温の乾燥した場所で保管してください。

 正規の DYMO ラベル 以外のラベルの使用により生じる不具合または破損に関して、当社は保証いたしません。DYMO のラベル プリンターはサーマル印刷技術を用いているため、特別にデザイン・製造した専用ラベルを使用する必要があります。正規の DYMO ラベル 以外のラベルで使用している保護コーティングとは互換性がなく、印刷時に不具合が生じたり、プリンターの故障の原因になったりする場合があります。

D1 ラベルカセット

MobileLabeler、LabelWriter 450 Duo、LabelManager ラベル メーカーには、DYMO D1 ラベル カセットを使用します。

D1 ラベル カセットには、さまざまな色と素材がそろっており、以下の幅からお選びいただけます。

- 6 mm
- 9 mm
- 12 mm
- 19 mm
- 24 mm

ラベル プリンターに応じて、使用できる最大幅は異なります。使用できるラベル幅については、プリンターに付属のユーザーガイドを参照してください。

ラベルカセットおよび最寄りの販売業者をすべて記載したリストをご覧になる場合は、DYMO Web サイト ([at www.dymo.com](http://www.dymo.com)) にアクセスしてください。

プリンターに必要なのはラベルのみです。

 正規の DYMO ラベル 以外のラベルの使用により生じる不具合または破損に関して、当社は保証いたしません。DYMO のラベル プリンターはサーマル印刷技術を用いているため、特別にデザイン・製造した専用ラベルを使用する必要があります。正規の DYMO ラベル 以外のラベルで使用している保護コーティングとは互換性がなく、印刷時に不具合が生じたり、プリンターの故障の原因になったりする場合があります。

ラベルの購入

当社では LabelWriter および LabelManager の両プリンター用に多種多様な正規の DYMO ラベルを用意しています。たとえば、封筒に住所を書く、パッケージを配送する、ファイル フォルダーに名称を付ける、さまざまな種類のメディアにラベルを貼る、名札を印刷するといったように、いろいろな用途に適したラベルがあります。全製品を記載したリストをご覧になる場合は、DYMO Web サイト (www.dymo.com) を参照してください。

現在選択しているラベルの詳細を見つける

- ▶  ラベルをクリックします。



正規の DYMO ラベル 以外のラベルの使用により生じる不具合または破損に関して、当社は保証いたしません。DYMO のラベルプリンターはサーマル印刷技術を用いているため、特別にデザイン・製造した専用ラベルを使用する必要があります。正規の DYMO ラベル 以外のラベルで使用している保護コーティングとは互換性がなく、印刷時に不具合が生じたり、プリンターの故障の原因になったりする場合があります。

基本設定の設定

以下の基本設定を変更することができます。

プリンターの設定	印刷部数、ミラー印刷、まとめ印刷、印刷品質の、既定のプリンター設定を変更します (LabelWriter プリンターのみ)。
ルーラーとガイド	ルーラーとガイドをオン/オフにすることができます。
ラベルレイアウトのロック	ラベルレイアウトをロックする場合、ラベルのオブジェクトの位置、サイズ、方向を変更することはできません。ただし、一部のオブジェクトではコンテンツを変更することができます。
測定単位	ソフトウェアに表示する測定単位をメートルに設定します。
言語	言語を設定します。言語を変更する場合は、変更を有効にするためにソフトウェアの再起動が必要になります。
表示設定	ディスプレイをお使いのものに合わせて 72 または 96 ピクセル/インチに設定します。に変更を有効にするためにソフトウェアの再起動が必要になります。
出荷時の設定に戻す	ラベル プロパティと基本設定を出荷時の既定値に戻します。言語は変わりません。
DYMO 製品の改善	オンにすると、プリンターとラベルの使用データが DYMO に送られるため、当社は製品がどのように使用されているかを理解することができます。このときに個人情報を送信することは絶対にありません。このデータの送信はいつでも停止することができます。
アップデートの確認	オンにすると最近あったソフトウェアの更新情報を表示します。

キーボードショートカット

対象	押すキー	目的
ナビゲーション	Tab	次に進む、左から右に移動する、上から下に移動する
	Shift+ Tab	前に戻る
リンクボタン	Enter	選択した項目をアクティブにする
	Enter または スペースバー	ボタンをアクティブにする
チェックボックス (切り替え)	スペースバー	チェックを入れたり消したりする
ラジオボタン	スペースバー	(まだ選択していない場合に) オプションを選択する
	↑/↓ -	オプション間を移動する
	Tab	ラジオボタンから移動する
メニューの選択	F4/Alt+ ↑ / ↓	メニューを開く
	Enter	オプションを選択する
	Tab/ShiftとTab/ ↑ >/↓	前または次のオプションに移動する
	文字キーすべて	押した文字キーのオプションに移動する
	Esc	何も選択せずにメニューから移動する
検索と検索結果	入力して検索を開始	
	Esc	入力した文字を消去する
	Tab	複数の検索結果間を移動する
	↑/↓	他のオプションに移動する
	Enter/スペースバー	オプションを選択する
ダイアログボックス	Tab/ShiftとTab/ ↑ / ↓	他のオプションに移動する
	Enter/スペースバー	オプションを選択する
	Esc	ツールヒントを閉じる
スライダー	↑/↓ または ←/→	スライダーを動かして数字を選ぶ
	PgUp/PgDn	移動の範囲を大きくしたり小さくしたりする
	Home/End	最初または最後に移動する
チェックボックスのあるリスト	↑ / ↓	前または次のメニューに移動する
	Tab/ShiftとTab	同じオプションの中の他の項目に移動する
タブパネ	CtrlとTab/ CtrlとShiftとTab	別のタブに移動する (プロパティ

ル		ペインなど)
	Tab/ShiftとTab	タブにあるオブジェクトに移動する
オブジェクトの選択と編集	Tab/ShiftとTab	オブジェクトに移動する
	スペースバー/Shiftとスペースバー	オブジェクトを選択したり選択を解除したりする
	Enter	テキストを入力したオブジェクトを選択して編集モードに切り替える
	Tab	終了させる
	← → ↑ ↓	左右、上下に移動する
	Ctrl+ ←	幅を狭める
	Ctrl+ →	幅を広げる
Ctrl+ ↑	高さを増やす	
Ctrl+ ↓	高さを減らす	

困ったときは

Web サイト (www.dymo.com) のサポート エリアにアクセスし、チャットまたはメールにてお問い合わせください。

米国にお住まいの方でしたら、東部標準時で午前 9 時から午後 6 時 (電話) および午前 9 時から午後 5 時まで (チャット) まで DYMO テクニカル サポートをご利用になれます。

電話: (877) 724-8324

米国外からテクニカルサポートにご連絡になる場合は、以下から該当する国を選択してください。

DYMO - ニュージーランドおよびオーストラリア	800-633-868
DYMO - 香港	852 3926 9831
DYMO - カナダ	(877) 724-8324
DYMO - オーストリア	+431206091919
DYMO - ベルギー	+3227007453
DYMO - チェコ共和国	+420239016817
DYMO - デンマーク	+4543314814
DYMO - フィンランド	+358972519770
DYMO - フランス	+33157324846
DYMO - ドイツ	+4969999915354
DYMO - ハンガリー	+3617789452
DYMO - リストに記載のない国	+442035648356
DYMO - アイルランド	+35315171856
DYMO - イタリア	+39 02 23 33 15 57
DYMO - オランダ	+31707703820
DYMO - ノルウェー	+4722310922
DYMO - ポーランド	+48223060692
DYMO - ポルトガル	+351213665376
DYMO - ロシア	+78005552676
DYMO - スロバキア	+442035648353
DYMO - スペイン	+ 34 91 177 61 24
DYMO - スウェーデン	+46 (0)8 5936 6312
DYMO - スイス	+41446545919
DYMO - 英国	+442035648354

ソフトウェアの更新プログラム

DYMO Connect 最新バージョンのソフトウェアがインストールしてあるかどうかを、ソフトウェアが定期的に自動でチェックします。お使いのソフトウェアのバージョンの更新プログラムが入手可能な場合は、更新プログラムをダウンロード・インストールするかどうかを確認するメッセージが表示されます。更新プログラムが入手可能かどうかを手動で確認することもできます。

ソフトウェアの更新プログラムを入手するには、インターネットに接続している必要があります。

更新プログラムの通知を受け取りたくない場合は、基本設定で自動更新をオフにしてください。

ソフトウェアの更新プログラムを手動で確認する

1. ヘルプメニューから更新プログラムを確認を選択します。
更新プログラムが利用可能な場合は、更新プログラム ダイアログ ボックスが表示されます。更新プログラムがない場合は、そのように通知します。
2. 更新プログラムのダイアログ ボックスの指示に従って、更新プログラムをダウンロードしてインストールします。